

# 神奈川県動物愛護管理推進計画（平成26年度～平成35年度） 平成29年度実施結果

## 施策1 動物愛護管理に関する普及啓発

### ① 動物愛護普及行事の実施

- 動物愛護週間等の行事として、市民、動物関係団体、獣医師会等と協力し、「動物フェスティバル」「動物愛護フェア」「動物愛護のつどい」等の動物愛護週間事業を開催し、県民の動物愛護精神の高揚を図るとともに、区民まつり等のイベント時に獣医師会、関係団体等と協力し、普及啓発活動を実施した。

事業名	参加人数 (概算)	実施自治体
動物フェスティバル神奈川2017inさがみはら	3,000	県、相模原市
動物愛護のつどい	35	県
動物愛護フェスタよこはま 2017	11,000	横浜市
動物愛護フェアかわさき2017	3,700	川崎市
幸区動物愛護展（幸区役所）	200	川崎市
高津区動物愛護パネル展（高津区役所）	200	川崎市
どうぶつ愛護フェア in たま区（多摩区役所）	300	川崎市
麻生区動物愛護パネル展（麻生区役所）	180	川崎市
ペットの防災（麻生区役所 川崎市総合防災訓練展示）	70	川崎市
「みんな元気！さがみはら健康フェスタ2017」内動物愛護ブース	200	相模原市
動物フェスティバルよこすか2017	10,000	横須賀市
動物愛護センター開放DAY	522	横須賀市
第44回藤沢市動物愛護のつどい	1,400	藤沢市

② 適正飼養講習会等の開催

- 動物の飼養者や譲渡対象者等を対象に、適正飼養、しつけ方等についての各種教室、講習会の開催や、獣医師会に委託し相談を実施した。また、小学校、保育園等を対象とした動物ふれあい教室、夏休み飼育体験教室等を開催した。

	事業名	実施回数	参加人数	実施自治体
講習会	譲渡前講習会	23	328	県
	譲渡後講習会	26	52	県
	犬のしつけ教室	4	49	県
	動物教室	132	2,533	県
	譲渡前講習	個別対応	164	横浜市
	わんにゃん教室	5	204	横浜市
	高齢犬猫との暮らし方セミナー	3	113	横浜市
	譲渡前・譲渡時講習会	157	174	川崎市
	猫の適正飼養講座【新規】	1	64	川崎市
	犬のしつけ方教室	1	24	川崎市
	地域猫活動セミナー	1	69	川崎市
	市民公開講座	1	107	川崎市
	犬のしつけ方教室	3	75	相模原市
	ねことの手ななかかわり方講座	1	43	横須賀市
	出前トーク・講習会	7	154	横須賀市
	出前健康教育	1	75	茅ヶ崎市
	相談	犬のしつけ相談	17	17
愛犬の正しいしつけお悩み相談室		9	57	横浜市
猫の相談会		22	113	相模原市
飼い方等の相談		6	17	相模原市
飼い方等の動物相談		1	20	藤沢市
ペット相談コーナー		1	10	茅ヶ崎市
体験	ふれあい教室	25	1,245	県
	夏休み飼育体験教室	4	38	県
	職業体験（中学生対象）	8	46	横浜市
	子どもアドベンチャー2017 動物愛護センターで犬猫について学ぼう	2	137	横浜市
	愛犬お手入れ教室	3	16	横浜市
	動物愛護教室	37	1,111	川崎市
	サマースクール～センターのお仕事やってみよう～（小学4～6年生対象）	4	30	川崎市
	サマースクール～いのちを学ぼう&バックヤードツアー（小学2～4年生対象）	1	19	川崎市
	犬の正しい飼い方教室	4	84	横須賀市
	中学生等職場体験	5	8	横須賀市

夏休み動物愛護センターお仕事体験教室【新規】	2	12	横須賀市
犬のしつけ方実践教室	2	40	藤沢市
愛犬のしつけ教室	1	42	茅ヶ崎市
散歩マナーパトロール	10	70	茅ヶ崎市

### ③ 教育現場等での普及啓発の推進

- 幼児・児童を対象に動物愛護精神の普及啓発を目的としたイベントを開催した。（横浜市）  
実績：「わんにゃんファミリーコンサート」（平成29年11月12日）、参加者426名
- 動物愛護センターで小学校に訪問して実施する動物愛護教室と併せ、ボランティアによる動物介在活動に関する案内を市立小学校に送付し、希望する小学校へ動物介在活動を実施した。（川崎市：かわさき犬・猫愛護ボランティアの活動）  
実績：小学校11校37クラス 参加人数1,111名  
うち2校6クラス179名で動物介在活動を実施
- 平成27年9月にスタートした「ひと どうぶつ MIRAIプロジェクト」のいのちを「まなぶ」取り組みとして、著名人や有識者で構成される「いのちの教育」に係る意見交換会を平成29年度も引続き実施した。（川崎市）
- 動物の適正飼養、動物愛護精神の普及啓発を目的とした、地域レベルでの自主的な取り組みとして、しつけ教室、保護譲渡推進活動、避妊又は去勢手術推進活動、地域イベントや全市や区で開催した動物愛護普及啓発イベント、地域イベントへの出展、動物愛護センターとの協働等を展開した。（川崎市：かわさき犬・猫愛護ボランティアの取り組み）  
実績：愛犬のしつけ方教室と飼い主のマナー教室開催、区民祭への参加、動物愛護フェアかわさき2017や区で開催した動物愛護普及啓発イベントへの参加、動物愛護センター主催の犬のしつけ方教室講師等
- 小学校へ出張し、ボランティア団体と協働で動物愛護精神の普及啓発を目的とした講習会と音楽劇の実施（横須賀市）  
実績：3回 参加人数 411人
- 学校飼育動物ポスター展を開催した。（藤沢市）  
実績：1回 市内23小学校が参加

### ④ 広報媒体による普及啓発

- 動物愛護週間、適正飼養の推進、動物愛護管理法の周知などに関するポスター、パンフレット等を配布しホームページ・広報紙等において、動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発を実施した。  
実績：避妊又は去勢手術の重要性を記載したリーフレットを配布した。（県）  
広報さがみはらにペットの適正飼養についての特集ページを掲載し、マナーの啓発を行うとともに、市で行っている猫の相談会や地域猫活動モデル事業等について周知した。（相模原市）

広報よこすか 3回掲載（横須賀市）  
広報ふじさわ掲載（1回）及びFMラジオ放送（2回）において、動物の愛護及び犬猫の適正飼養について啓発を行った。（藤沢市）

- 市政だより、かわさきFM、地下街広報コーナー、川崎市の公式SNS等を利用して、動物の適正飼養や防災対策について、普及啓発をした。その他、終生飼養等に関するクリアファイルやリーフレット、防災対策に関するエコバックを作成した。（川崎市）  
実績：市作製リーフレット「ペットと暮らすさしすせそ」配布数  
冊子：約2,900部 リーフレット：約4,800部
- ペット通信9月発行「ペットの迷子が増えています！」を作成し、迷子札やマイクロチップの装着について普及啓発を行った。（茅ヶ崎市）

## 施策2 動物の収容数減少への取組み

### ① 飼い主への普及啓発等

- 引取り相談の都度、飼い主に対し、終生飼養及び自ら新たな飼い主を探すことを指導した。
- 公共の場所で疾病にかかり、又は負傷した犬、猫等の動物の処置を獣医師会等に委託し、また、センター等において保護収容等を実施した。
- 平成28年度の犬猫の殺処分ゼロを受け、引続き殺処分ゼロを目指し、収容数減少や、返還・譲渡の推進に向けて取組みを行うこととした。（県）
- 動物の引取りを申し出る者に対して、原則として事前相談を受けるものとし、終生飼養や自ら譲渡先を探す等、飼い主への適正飼養指導を行った。
- 動物取扱業者と連携し、動物取扱責任者研修等を通じ情報を提供して、購入者や利用者が動物を適正に飼養するための知識の普及啓発を実施した。（県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市）

### ② 新たに飼い主となる人への啓発

- 新たに飼い主となる人に対して、マイクロチップの装着に係るリーフレットを動物取扱業者や神奈川県動物保護センター登録譲渡ボランティアを通じて配布した。（県）
- 川崎市動物愛護センターで譲渡希望者を対象に、譲渡前・譲渡時講習会を行い、動物を適正に飼養するための知識の普及啓発を実施した。（川崎市）  
実績：譲渡前講習会86回実施（参加人数 97名）  
譲渡時講習会71回開催（参加人数 77名）

### ③ 繁殖制限措置の実施の推進

- 飼育される見込みのない子猫を増やさないため、飼い主のいない猫の避妊又は去勢手術費用の一部補助を行った。（横浜市）

実績：4,098頭

- 飼い猫又は責任をもって世話をしている所有者の判明しない猫を対象とした避妊又は去勢手術費用の一部補助を実施し、無計画な繁殖の防止を推進した。

猫		実施自治体
雄	雌	
821頭	1,104頭	川崎市
890頭	667頭	相模原市
726頭	836頭	横須賀市
63頭	103頭	藤沢市

- 動物愛護センターから譲渡する犬・猫に対し、原則として避妊又は去勢手術を行った。（県、横浜市、川崎市、横須賀市）

実績：犬34頭、猫 19頭（県）

犬22頭、猫129頭（横浜市）

犬 1頭、猫 55頭（川崎市）

犬20頭、猫 57頭（横須賀市）

### 施策3 動物の返還・譲渡の推進

#### ① 動物の返還の推進

- 犬の登録及び鑑札の装着など、所有明示措置を実施するよう飼い主責任の徹底について指導を実施し、動物の返還を推進した。
- 動物保護センターに収容された動物に加え、一般家庭等で保護されている動物についてもホームページに情報を公開することで、返還を推進した。（県）
- 動物愛護センター、保健所等で、保護収容された動物についてホームページで情報を公開し、返還を推進した。

#### ② 動物の譲渡の推進

- 動物保護センターに収容された譲渡対象動物をインターネット上で閲覧できるようホームページにて公開し、譲渡会による譲渡、民間団体、ボランティア、獣医師会と連携した譲渡を推進した。（県）
- 動物保護センターの登録ボランティアが主催する譲渡会の日程等をホームページに掲載し、ボランティア活動を支援することにより譲渡を推進した。（県）

- ボランティアによる犬・猫の譲渡会を県施設で休日に開催し、譲渡推進を図った。(県)  
実績：13回(保護センター会議室)
- 動物保護センターで、ボランティアによる動物のトリミング等を行い、譲渡を推進した。(県)
- 定期開催している譲渡会以外でも譲渡希望者に対して面接等によるマッチングをしたうえで譲渡する「一般譲渡」を開始することにより譲渡推進を図った。(県)
- 犬及び猫の譲渡前講習を実施し、譲渡を推進した。(横浜市)  
実績：参加者164名
- 動物愛護センターの譲渡対象動物をインターネット上で閲覧できるようホームページにて公開し、譲渡を推進した。(横浜市)
- 団体譲渡対象団体・獣医師会と連携した譲渡を推進した。(横浜市)
- 動物愛護センターで、ボランティアによる動物のトリミング等を行い、譲渡を推進した。(横浜市)
- 参加イベント等において、動物愛護センターの譲渡対象動物の情報を展示し、動物愛護センターに収容されている動物の譲渡を推進した。(横浜市)
- 「動物愛護基金」への寄附を募集した。寄附募集パンフレットの設置施設や募金箱設置数を増加し、昨年度から引き続き多くの方から金銭及び物品の寄附をいただいた。(川崎市)
- 動物の譲渡を希望する人と飼養を希望する人とを、動物愛護センターのホームページ上で仲介する「動物の譲渡にかかるコーディネート推進事業」により、動物にできる限り生存の機会を与えるための門戸を広く設けた。(川崎市)  
実績：譲渡希望動物登録数 17件、飼養希望登録者 5名、コーディネート成立 1件
- 動物の譲渡会を休日に開催し、譲渡の機会を増やす等譲渡の推進を図った。(川崎市)  
実績：14回実施(毎月第3日曜日に実施、猫の臨時譲渡会を2回実施)
- 動物愛護センターで譲渡を行った動物の飼い主に対して、譲渡後訪問を行い、動物の健康状態や飼養状況等を確認するとともに、適正飼養管理等の相談に応じた。(川崎市)
- 「人と猫との共生社会支援事業」において、猫の譲渡面接会を動物愛護団体と協働で実施した。猫の譲渡を希望する人と飼養を希望する人とを会において引き合わせ、猫の譲渡に努めた。(相模原市)  
実績：譲渡面接会 11回開催  
譲受希望者数 192人、参加頭数 153頭、譲渡成立数 28頭

- 相模原市動物の譲渡事務取扱要綱に基づき登録を受けた猫のボランティア団体に対して、猫の譲渡に努めた。（相模原市）
- 猫のボランティア団体が開催する猫の譲渡会の会場として、犬の一時抑留施設を貸し出した。（相模原市）
- 市の譲渡対象団体として登録を受けたボランティア団体の紹介及び各団体が主催する譲渡会の日程等をホームページに掲載し、ボランティア活動を支援した。（相模原市）
- イベント等において、動物愛護センターに収容されている譲渡対象動物の情報を開示し、動物愛護センターに収容された動物をより多く譲渡できるよう推進した。（横須賀市）
- 動物愛護センターに保護収容された動物の譲渡の推進を図るため、情報を市ホームページに掲載した。（横須賀市）
- 市と協働事業を実施しているボランティア団体の譲渡会の日程等をホームページや広報等に掲載し、ボランティア活動を支援した。（茅ヶ崎市）
- 犬と猫の譲渡会を開催した。（茅ヶ崎市）

#### 施策4 所有明示の推進

##### ① 犬の登録等の推進

- 市町村との連携や動物取扱業者を通じた啓発等を充実することにより、狂犬病予防法に基づく登録及び鑑札等の装着を推進した。（県）

##### ② 所有明示の推進

- マイクロチップの普及の推進や、ホームページへの掲載等により、普及推進を図った。（県）

実績：動物保護センターから譲渡する犬猫については、原則マイクロチップを装着した。

マイクロチップ装着数 犬202頭 猫147頭実施

マイクロチップリーダーの設置施設をホームページで公表した。

- マイクロチップ装着を推進するため、飼い犬、飼い猫に対し、装着費用の一部補助を行った。（横浜市）

実績：401頭

【内訳】	雄	雌	計
犬	48	52	100
猫	151	150	301

- 「電子標識機器（マイクロチップ）による所有者明示措置推進要綱」に基づき、動物愛護センターからの譲渡動物のうち、希望者に対しては、マイクロチップを装着した。（川崎市）

実績：マイクロチップ装着数 犬 3頭 猫 64頭

- オリジナルの猫用迷子札を作成し、市民へ無料配布した。【新規】  
また、動物愛護フェアかわさき2017や適正飼養キャンペーン等で迷子札の作成体験やリーフレットの町会回覧などにより、所有明示について普及啓発を行った。（川崎市）  
実績：迷子札配布数 約1,620枚
- 犬の登録窓口及び藤沢市動物愛護のつどいにおいて、リーフレットを配布しマイクロチップ装着について普及啓発を行った。（藤沢市）
- マイクロチップの普及啓発のため、各種イベント等でマイクロチップの展示やホームページへの掲載等を行った。（茅ヶ崎市）

## 施策5 動物による危害や迷惑の防止

### ① 飼い主のいない猫への対策

- 飼い主がいない猫を適正に管理できると認められる者が行う当該猫の避妊又は去勢手術に対し、その費用の一部の補助を実施した。（県）  
実績：1団体（雄3頭、雌3頭）に対して補助した。
- 平成25年6月27日から地域猫活動の検証を目的とした「地域猫活動モデル事業」を開始し、モデル事業に登録した地域の猫について動物愛護センターで避妊又は去勢手術を行うなど、地域猫活動の支援を実施した。（横浜市）  
実績：4地域をモデル地域として登録  
動物愛護センターで累計1頭（雄1頭）の去勢手術を実施した。
- 平成25年6月に作成した「横浜市猫の適正飼育ガイドライン」の冊子の周知を引続き図り、簡易版リーフレット「人と猫が共生する快適な居住環境の維持向上を目指して」や「飼い主のいない猫を増やさないために」を作成し、区福祉保健センター、地区センター及び動物愛護センター窓口での配布、ホームページへの掲載を行った。（横浜市）
- 「川崎市猫の適正飼養ガイドライン」の周知や地域猫活動セミナーの開催により、地域猫活動の考え方を普及推進した。（川崎市）  
実績：地域猫活動セミナー 参加者数 69人
- 「人と猫との共生社会支援事業」において猫の相談会を動物愛護団体と協働で実施した。定期的に窓口を設け、動物愛護団体と市職員が一緒に、市民からの家庭や地域などにおける猫に関する相談を受けた。（相模原市）  
実績：猫の相談会 22回開催  
相談件数 69件 来場者数 113人



- 「人と猫との共生社会支援事業」において地域猫活動モデル事業を動物愛護団体と協働で実施し、登録地域における猫の避妊又は去勢手術費用等を負担し、地域猫活動の支援を実施した。（相模原市）  
実績：登録地域 14地区（平成29年度登録 7地区）
- 地域猫活動支援事業において、地域猫活動団体の登録と、登録した団体の管理する猫について動物愛護センターで避妊又は去勢手術を行った。（横須賀市）  
実績：登録団体 29団体 避妊又は去勢手術の実施318頭
- 市民協働事業「地域猫活動啓発協働モデル事業」を動物愛護団体と協働で実施した。（横須賀市）  
実績：実行委員会の開催 1回  
町内会への説明会 7回  
TNRの補助 34回
- 「横須賀市猫の飼育ガイドライン」の周知を引続き図り、地域での猫対策の実施状況について情報を共有した。（横須賀市）  
実績：「猫対策連絡会」を平成29年12月6日に開催した。
- 「のら猫による近隣トラブルを防ぐために」「猫を正しく飼いましょう」「地域猫活動の進め方」のリーフレットを作成し、保健所、市民センター窓口での配布、ホームページへの掲載を行った。（藤沢市）
- 飼い主のいない猫対策として、ボランティア団体との協働事業により313頭の猫の避妊又は去勢手術を実施した。（茅ヶ崎市）
- ボランティア団体の譲渡会場にて、休日相談窓口を設置した。（茅ヶ崎市）
- 飼い主のいない猫対策として、地域猫活動を実施している自治会等に避妊又は去勢手術等の費用の補助を実施した。（茅ヶ崎市）  
実績：登録地域4地区
- ② 飼い主への普及啓発
  - 適正飼養講習会の実施、ホームページ等への掲載、犬の糞尿に対する啓発看板の配布などにより、動物の飼い主に対し、適正な飼養管理等について指導、普及啓発を行った。  
実績：猟犬の返還時、猟犬の管理に関するリーフレットを配布した。（県）  
犬のフンとおしこの始末啓発プレート配布 4,371枚（横浜市）  
犬の糞尿被害防止プレート配布 858枚（川崎市）  
適正飼養についての町会・自治会あて啓発リーフレット 43,779枚（川崎市）  
犬のフン持ち帰り啓発看板配布 367枚（相模原市）  
犬の正しい飼い方啓発看板配布981枚、猫の正しい飼い方啓発看板配布148枚（横須賀市）

犬のふん尿防止啓発看板 302枚配布（藤沢市）

犬の飼い主に対し適正飼養のチラシ配布 約21,000枚（藤沢市）

犬のフン尿防止啓発看板配布 （大）70枚、（小）542枚（茅ヶ崎市）

○ 変動超音波式ネコ被害軽減器を貸し出した。

実績：貸出し件数 38件（県）  
実績あり（未集計）（横浜市）  
165件（川崎市）  
34件（相模原市）  
13件（横須賀市）  
27件（藤沢市）  
17件（茅ヶ崎市）

○ リーフレット「飼い猫は屋内で」を配布し、室内飼養について普及啓発を行った。（川崎市）

○ 平成22年度に作成した「神奈川県猫の適正飼養ガイドライン」を飼い主の指導等に活用した。（県、藤沢市、茅ヶ崎市）

③ 犬による危害等防止

○ 犬については、狂犬病予防及び動物愛護管理の両面から、捕獲、抑留又は野犬等の収容により、こう傷事故等の未然防止を図るとともに、事故発生時には迅速に対応し、飼養者に対して適正な飼育方法を指導することにより事故の再発を防止した。

④ 特定動物による危害等防止

○ 特定動物の飼養等許可及び飼養施設の監視指導を行い、逸走防止のための措置や特定動物の飼養又は保管に対する法令遵守を徹底させ、特定動物による危害の発生防止を図った。

**施策6 遺棄・虐待防止の取組み**

① 普及啓発

○ 動物を安易に飼い始めないこと、飼養開始前に動物の習性等を理解しておくことについて、ホームページ、リーフレット等の啓発資料などにより普及を図った。

○ 動物の遺棄を防止するため、飼えなくなった犬猫等の動物を引き取った。

○ 適正飼養キャンペーンや動物愛護フェア等において普及啓発した。（川崎市）

実績：啓発用ティッシュ配布約3,000個

② 遺棄・虐待発生時の対応

○ 警察、市町村、自治会、動物愛護団体等との連携を密にし、適正飼養の普及啓発、連絡体制の構築により、遺棄・虐待発生時の対応を図った。

## 施策7 動物取扱業の適正化

### ① 動物取扱業者への監視指導等

- 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱業者の登録申請、施設立入検査、苦情対応、動物取扱責任者研修等の機会を通じて、法令遵守、動物の適正な飼養管理、業務に必要な知識及び技術等に対する啓発指導を実施した。

実績：動物取扱業責任者研修会の実施

開催回数	出席者数	実施自治体
2	1,074	県
5	1,167	横浜市
2	391	川崎市
2	277	相模原市
1	121	横須賀市

### ② 動物取扱業者の知識・技術の向上

- 動物取扱業の関係団体等への支援や事業者による自主管理を推進するため、監視指導による実態把握を実施した。（県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市）

## 施策8 実験動物及び産業動物の適正な取扱いの推進

### ① 実験動物の適正な取扱いの推進

### ② 産業動物の適正な取扱いの推進

- 引続き、実験動物及び産業動物の適正な取扱いについて対応した。（県）

## 施策9 人と動物の共通感染症への取組み

### ① 普及啓発

- 動物の飼い主や動物取扱業者に対し、講習会、ホームページ等において、人と動物の共通感染症に関する正しい知識や対策についての普及啓発を実施した。
- ペット通信2月発行「ペット飼育の注意点について」を作成し、人と動物の共通感染症に関する正しい知識や対策についての普及啓発を行った。（茅ヶ崎市）

### ② 調査、情報収集等の実施

- 人と動物の共通感染症の抗体保有状況等の調査の実施、結果の公表を行い、飼養及び健康管理が適正に行われるよう指導した。（県）

実績：調査実施検体数255件

- 譲渡に供する犬や猫、動物愛護センターのふれあい動物や収容犬、死亡野鳥等の通報等に対し、それぞれに応じた病原体検査を実施し、感染の実態把握及び未然防止を図った。（川崎市）

実績：収容された犬猫に対する糞便検査 約4,800件

③ 発生に備えた対応等

- 川崎市高病原性鳥インフルエンザ対応指針に基づき、高病原性鳥インフルエンザ対応訓練を行った。(川崎市)
- 「藤沢市健康危機管理基本指針」「藤沢市死亡した愛がん鳥の鳥インフルエンザ対応マニュアル」等に基づき対応した。(藤沢市)

**施策10 災害時対策**

① 災害時における体制の整備

- 災害時動物救護活動用のケージ・テント等を購入した。(県)
- 川崎市域で災害が発生した時の動物救援活動について、川崎市と「災害時の動物救援活動に関する協定書」を締結している公益社団法人川崎市獣医師会と、具体的な協力体制の確認のための連絡会議を開催し机上訓練を実施した。(川崎市)
- 「災害時における動物救護活動に関する協定書」に基づき、救護活動の具体的な内容を検討した。(横須賀市)  
実績：本協定は、横須賀市地域防災計画に基づき必要な事項を定めなければならないため、3.11の東日本大震災を踏まえ市地域防災計画と発災からの時系列の災害対応業務マニュアルを見直した。
- 「災害時の動物救護活動に関する協定書」に基づき、藤沢市獣医師会と、救護活動の具体的な活動内容の確認のための連絡調整会議を開催した。(藤沢市)
- 「避難施設運営マニュアル(ペット対策編)」及び「動物救護マニュアル(ペット飼い主編)」を配布し周知を図った。(藤沢市)
- 災害時の動物救護活動に関する協定書に基づき、救護活動の具体的な内容を検討した(茅ヶ崎市)
- 災害時動物救護用の簡易テントを購入し、地区防災訓練を実施した避難所の防災倉庫に保管した。(茅ヶ崎市)
- 「避難所でのペットの受け入れについて〈ガイドライン〉」を作成し、地区防災訓練等で配布し周知を図った。また、ペットの避難訓練を開催し、災害時における同行避難や避難所生活を模擬体験してもらい災害時のペット対策の普及啓発を行った。(茅ヶ崎市)

② 平常時の準備

- 地域防災拠点や自治会等の防災訓練・勉強会等に参加し、飼い主が日頃からできる災害時のペット対策の周知や、災害時のペット同行避難、ハウストレーニングなどの実習を交えた啓発を実施した。(横浜市)

実績：地域防災拠点等での災害時のペット対策啓発（6か所）（12月末）

「災害時のペット対策」模擬動物避難所やペット防災グッズを横浜市動物愛護センター内に常設展示

- 災害に備え、ペットフード及びケージ等の備蓄をランニングストック方式にて行った。（川崎市）
- ペットの災害対策をテーマとしたエコバックを作成した。（川崎市）【新規】
- 川崎市総合防災訓練や動物愛護フェアかわさき2017においてペットの災害対策について普及啓発を行った。（川崎市）

実績：市で作成した「ペットの飼い主のための防災手帳」や「猫の迷子札」を無料配布

川崎市総合防災訓練において、川崎市獣医師会と協働でブースを出展し、ペットの災害対策について展示を行った。

各区役所が主催の防災訓練において、ペットの災害対策について展示を行った。
- 総合防災訓練に相模原市獣医師会、動物愛護推進員及び担当課が参加し、備蓄品の用意、所有明示措置等の災害時対策について啓発を行った。（相模原市）
- 行事開催時に災害時対策に関する展示や講演等を行い、啓発を行った。

実績：動物フェスティバル神奈川2017in さがみはら、動物愛護のつどい及び県市合同総合防災訓練（ビッグレスキューかながわ）にて災害時の持ち出し用品の展示等を行い、啓発を行った。（県）

犬のしつけ方教室内で専門家による犬のしつけと災害対策に関する講演を行った。（相模原市）

犬のしつけ方実践教室においてペットの防災に関する普及啓発を行った。（藤沢市）

「第44回藤沢市動物愛護のつどい」において、藤沢市獣医師会との協働で「ペットの災害対策について」の講演及びリーフレット配布等を行い、啓発を行った。（藤沢市）
- 犬の飼い主に対し、「防災愛犬カード」を配布し災害に備え犬の情報を常時持ち歩くよう普及啓発を行った。（藤沢市）

実績：配布枚数 約1,900枚
- 愛犬手帳に飼い犬の防災対策について記載し、飼い主の意識向上を図った。（茅ヶ崎市）

## 施策11 人材育成

### ① 協議会等の開催

- 協議会等の開催により、関係者間の協働関係の構築を図った。

実績：動物愛護管理推進協議会の開催（2月22日）

人と動物との共生推進よこはま協議会の開催（第1回6月13日、第2回12月4日、第3回3月13日）（横浜市）

- 人と動物との共生社会推進懇話会を設置し、本市が推進する動物愛護事業に関して意見交換を行った。（相模原市）

実績：7月4日、10月3日開催

- 茅ヶ崎・寒川動物愛護協議会を開催し、動物に関する様々な問題に取り組んだ。（茅ヶ崎市）

実績：協議会の開催（4月11日）、犬と猫の譲渡会（11月12日）、連絡調整会議の開催（12月12日）

## ② 動物愛護推進員の委嘱及び研修等の実施

- 地域における動物の愛護や適正な飼養に関する指導・助言等を行う動物愛護推進員を委嘱し、委嘱後の活動支援を実施した。

実績：動物愛護推進員の意見交換会（7月21日）を行った。（県）

横浜市動物適正飼育推進員研修会（第1回7月22日 参加者28名、第2回9月9日 参加者15名、第3回11月14日 参加者59名、第4回2月17日 参加者27名）を実施した。（横浜市）

動物愛護推進員の打合せ会を3回（8月2日、10月13日、2月7日）行い、意見交換を実施した。（相模原市）

動物愛護推進員の意見交換会を行い、活動への支援及び協働した動物愛護事業について検討を行った。（5回）（藤沢市）【新規】

- かわさき犬・猫愛護ボランティアに対する積極的な情報提供・情報交換、「動物愛護フェアかわさき」等での協働を通じて、さらなる育成・支援を行った。（川崎市）

実績：動物愛護センターで散歩や子猫の哺乳についての講習を実施し、実際の譲渡事業にも協力頂いた。定期会議の他、区役所と連携し、区役所毎に会議を開催し、意見交換の場とした。また、9月に区役所において実施した動物愛護普及啓発イベントをかわさき犬・猫愛護ボランティアと協働で実施するなど、活動の場を提供し、活動の支援を実施した。

## ③ 関係機関等との連携

- 関係自治体の担当職員による各会議の開催により、情報の共有及び連携を図った。

- 研修の実施や環境省、厚生労働省等が行う研修への参加により、動物愛護管理業務担当者の資質の向上を図った。

- 県内の動物愛護団体等について、その活動内容等の把握を図り、各施策の実施にあたっての連携を図った。（県、川崎市）

## 施策12 調査研究の推進

### ① 調査研究の実施等

- 人と動物の共通感染症の病原体感染状況及び感染の恐れのある疾病の実態把握を目的とした検査等を実施し、飼養及び健康管理が適正に行われるよう指導した。→施策9参照

#### 神奈川県動物愛護管理推進計画の推進

- 「神奈川県動物愛護管理推進協議会」において、県としての事業の実施及び推進について協議した。
- 「神奈川県・保健所設置市動物愛護管理推進会議」を開催し、計画に基づく事業の推進及び進行管理や施策の総合的な企画及び調整を実施した。